

2026年度

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」
即戦力育成プログラム 26

受講生募集要項

岡 山 大 学

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラムの目的

人材不足のため産科医療は崩壊し、全国で分娩難民が発生しています。このため、産科医、助産師、看護師間の役割分担の再考とパートナーシップの強化が必要となっています。また、女性への支援の観点からは、助産師、看護師、保健師の役割は増しており、妊婦以外にも、不妊・不育（流死産を繰り返す）女性、子育て女性への支援は重要になっていますが、実践する専門家は非常に不足しています。

助産師免許や看護師免許を取得しながら結婚、妊娠、子育てのため家庭に入った女性達や、コミュニケーション能力不足で人間関係を築けず辞職した新卒助産師・看護師達は、元来、この分野に関心が高く、就労する意欲も強いことから貴重な人的資源であり、その復帰支援は実効性のある施策です。

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラムでは、この取り組みの中で、現役で周産期医療・母子保健を担当している医療スタッフにステップアップした実践能力と幅広い見識を得ていただくとともに、種々の不安と制約を抱える非就労助産師・看護師と新卒助産師予備軍である現役助産学生とが、互いに人間関係を築きながら、ステップアップした実践能力と自信を獲得してもらいたいと考えています。また、この結果、多様な就業形態を選択可能とし、やりがいを持てる各種現場への復帰、就職を促進できることを目的としています。

岡山大学大学院保健学研究科では、このプログラムの趣旨にそった意識と意欲を持った受講生を求めています。

I. 募集人員

15名程度

※応募が定員を満たさないときは、開講されない場合があります。

II. 応募資格

助産師免許・看護師免許取得者、助産、看護学生（2026年3月までに卒業する見込みの者）、および、岡山大学大学院保健学研究科長が適当であると認めた者

III. 出願期間

2025年11月17日（月）～2026年2月24日（火）（消印有効）

IV. 申込手続

1. 提出書類

(1) 履歴書（様式1）

(2) ※郵送の場合のみ 封筒1通（長形3号〔235mm×120mm〕の封筒に返信先住所・氏名を記入し、110円切手を貼付してください。）

2. 申込方法（郵送かメールにてお申込みください）

【郵送での申込方法】

封筒に提出書類(1)(2)を一括して入れ、郵便追跡ができるもの（一般書留、簡易書留、特定記録郵便、レターパック（ライト、プラス）のいずれか）で提出してください。

<郵送先>

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

岡山大学大学院保健学研究科 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

※封筒に「リカレント教育プログラム出願書類在中」と朱書きで記載してください。

【メールでの申込方法】

提出書類(1)履歴書（様式1）のデータを添付しメールで送信してください。

<送付先アドレス>

josan@cc.okayama-u.ac.jp

申し込みをされた方には、事務局（josan@cc.okayama-u.ac.jp）より受取確認のメールを送ります。josan@cc.okayama-u.ac.jpからのメールが届くよう、受信設定をご確認ください。申し込み書類送付後、郵送での申し込みの場合：6日 メールでの申し込みの場合：3日（土・日・祝日除く）たってもメールが届かない場合は、育成プログラム事務局（086-235-6538）までご連絡ください。（できるだけ平日午前中にご連絡ください）

V. 受講者選抜の方法

応募者多数の場合は、就労・非就労状況、志望動機等と、提出書類とを合わせ、総合的に判断し、選考委員会にて判定します。

VI. 確定した受講者の発表

2026年3月中旬

受講申込者には通知書を送付します（郵送またはメール）。

なお、合否についての電話による問い合わせには、お答えいたしません。

VII. 受講料

年間98,000円

※eラーニングでの受講料、各種設備・シミュレーター等使用料込み

※2027年度も無料で、各種設備・シミュレーターを使用できます。

VIII. オリエンテーション

1. 日 時 : 2026年4月（予定）

2. 開催場所 : 岡山大学医学部保健学科棟（対面とオンラインのハイブリッド開催）

「『妊娠中からの母子支援』即戦力育成プログラム 26」を修了後、大学院の単位を取得することができます（「単位授与希望「有」で申し込まれた方のみ」）。

提出書類や検定料・入学料が別に必要になりますので、単位授与希望の方は、別紙「単位授与について」を必ずご確認ください。

IX. プログラムの概要

1. カリキュラムの内容

3つの学びのカリキュラム

「産科の最新知識と産科超音波検査技術」、「新生児・子育て家族への支援」、「不妊症や流死産女性への支援」の3つの現場から専門スタッフを講師としてお呼びし、岡山大学大学院保健学研究科において、実践に即した講義と活きた実践技術を学びます。また、それぞれの現場を実際に見学し、あるいは、中に入って実践していただき、実践能力を身につけていただきます。

(1) 産科医療の最新知識、産科超音波検査技術を学ぶ

妊娠中から分娩までを通して総合的に妊婦を支援できる能力を獲得し、自立とともにその他の職種との協働ができる能力を身につけます。

「胎児の正確な計測と成長の評価」「胎児・胎盤・羊水の大きな異常の基本的なスクリーニング」「3D、4D 画像を用いた胎児の観察」が出来ることを目標とします。また、胎児を観察しながら妊婦や夫と良好にコミュニケーションが取れるようトレーニングを行います。

(2) 新生児・子育て家族への支援を学ぶ

産後の身体的、精神的トラブルに関する医学的知識、産科医院でも役立つベビーマッサージの技術、子育て支援のための社会資源の活用法などを学びます。

これにより、「分娩後の母親のための医学的知識」を獲得し、「子育て支援のための社会資源へのアクセス」、「産後うつ、児への虐待予防、障害児家庭支援のための地域連携」を体験し、自己の住む地域での母子保健行政への参入、子育てボランティア活動の参加を促進する。また、地域の核となる指導者を養成することを目標とします。

(3) 不妊症や流死産女性への支援を学ぶ

不妊症、不育症に関する医学的知識、生殖医療に伴う生命倫理、看護カウンセリングの理論と技術、行政からの助成金制度などを学ぶとともに、実習としてクライアントへの対応や、死産が発生した場合の支援を行います。

これにより、「不妊症、不育症に関する医学的知識」、「不妊症、不育症カップルに対する支援能力」、「死産を乗り越えるための支援」、「適正な生命・生殖に関する倫理観」、「年齢と妊孕性との関連を啓発できる能力」を獲得することを目標とします。

- ・産科超音波の基礎
- ・各種妊娠合併症の管理
- ・正常分娩の落とし穴
- ・胎児心拍モニターによる新しい分娩管理法
- ・新生児蘇生法
- ・赤ちゃんを観る
- ・ベビーマッサージ
- ・乳房管理、乳房マッサージ
- ・NICU 卒業児のその後

- ・妊娠中からの虐待予防
- ・妊婦の DV、デート DV の実態
- ・流産、死産のケア
- ・北米、北欧型継続的子育て支援
- ・地域での子育て支援
- ・性教育の実践
- ・妊孕性に関する啓発
- ・不妊症、不育症の基礎知識
- ・漢方を知る

など

2. 受講について

岡山大学大学院保健学研究科での講義や演習をはじめ、公開セミナーや子育て支援活動への参加など、1年を通じて約30回の講義と演習を受講してもらいます。

eラーニング（パソコン学習）を利用し、自分のスケジュールに合わせて復習、自宅学習や授業時間外学習も可能です。セミナーもeラーニングで参加できますが、実際に演習を行うことで技術を身につけることも必要ですので、できる限り実地の演習、またはリアルタイム配信を受講してください。

プログラム修了の評価（2026年3月）を経て、文部科学省「大学等の履修証明制度」にもとづき、受講者には岡山大学大学長より履修証明書を授与します。

募集要項・出願書類の請求

募集要項，出願書類は，以下のホームページからダウンロードしてください。

助産ネット：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>

